

歩行分析の臨床現場での活用

日時：2024年3月7日（木）19:00～20:30

申込：<https://forms.gle/4qiFvKupJVvV9oTA>

場所：Zoom（申し込み後に別途通知されます）

対象：歩行分析にご興味をお持ちの方（参加費無料）



■ ご挨拶と概要説明

東京工業大学・教授

三宅美博

本コンソーシアムでは、臨床における歩行分析の国際的な動向を学ぶとともに、我々の最新成果のご紹介や現場の様々な情報共有を進めることで、みなさまと共に技術開発に取り組んで参ります。



■ 本フォーラム紹介

WALK-MATE LAB・部門長

村方正美

本フォーラムは、歩行分析を用いた歩行改善方法の確立を目指し、歩行分析計の効果的な利活用方法などについての情報交換・情報共有の場、並びに臨床現場の課題やニーズ把握の場として運営していきます。



■ WM GAIT CHECKER Pro 紹介

東京工業大学・特任助教

内富寛隆

医療機器 歩行分析計 WM Gait Checker Pro を利用して、歩行運動の一步一步の動きの時空間的な軌道を計測して定量評価し、診断支援に応用する方法について紹介します。



■ 院内医療活用

長崎北病院 理学療法士

本多歩美

当院は神経内科を中心とした診療及びリハビリテーションを行っており、疾患における動作分析においてWM Gait Checker Proを活用しています。今回、事例紹介（主に運動失調）及び当院の取り組みについて説明します。



■ 芦ノ牧温泉病院での歩行分析計の院内医療活用事例

－理学療法士の歩行介助技術の可視化と介助指導への活用－

芦ノ牧温泉病院 理学療法士

竹山大輔

当院では、歩行介助中の患者の歩行状態をWM Gait Checker Proにて評価し、客観的データに基づいて技術指導を実践しています。介助方法や介助技術による歩行の変化をフィードバックすることは、理学療法士への臨床教育において重要と考えています。今回はその活用事例について紹介します。



一般医療機器 歩行分析計

WM GAIT CHECKER Pro

小型ウェアラブルセンサーを用いた歩行分析計

詳細はこちら

詳細はこちら

